

第18回

花の会

HANANOKAI

2017年

12月17日(日)

大濠公園能楽堂

第一部 12時開演(開場11時30分)

狂言 八句連歌 野村 萬齋

一調 春日龍神 武田 宗和
観世 元伯

能 熊野 誑次之伝 村雨留 観世 清和
墨次之伝 藤行留

満開の桜を散らす村雨
老母を思い晴れやらぬ心で舞う熊野…

第二部 15時開演(開場14時30分)

舞囃子 松浦佐用姫 坂口 貴信

狂言 瘦松 野村 萬齋

能 野守 白頭 観世 清和

鬼神が持つ“野守の鏡”は
天界から地獄までダイナミックに映し出す

熊野

野守



観世清和



森常好



観世元伯



一噌隆之



野村萬齋「特別ゲスト」

[第一部入場料]

S席 11,000円 A席 9,000円 B席 6,000円

[第二部入場料]

S席 10,000円 A席 8,000円 B席 5,000円

チケットのお求め・お問い合わせ 8月25日(金)一般発売開始 ※未就学児入場不可

花の会 福岡事務局

092-725-3846 (平日11時~18時)

※事務局は代金引換郵便でのご郵送となります。(別途郵送料500円)

●大濠公園能楽堂
092-715-2155(9時~17時 月休)

●チケットぴあ
0570-02-9999(Pコード480-707)
チケットぴあのお店、セブン・イレブン、
サークルK・サンクスでお求めいただけます。

●エムアンドエム
092-751-8257(平日10時~18時)

●ローソンチケット
0570-000-407
(オペレーター予約 10時~20時)
0570-084-008(Lコード82767)

主催 能楽伝承プロジェクト「花の会」、朝日新聞社

特別協力 (一財)観世文庫

後援 福岡県、福岡市、(公財)福岡市文化芸術振興財団

熊野

満開の桜咲く京都東山。平宗盛の寵愛を受ける熊野の、老母を思う心情がドラマティックに描かれた名曲です。沈む熊野の心とは対照的に、舞台には華やかな花見車が置かれ、都の名所の光景が語られます。やがて花見の宴の舞の途中で村雨が桜の花を散らし始めると、熊野は舞を止め、歌を詠みます：

第一部 (12時開演)

狂言

はちくれんが 八句連歌

貧者 野村 萬齋
何某 深田 博治

一調

かすがり ゆうじん 春日龍神

謡 武田 宗和
太鼓 観世 元伯

能

熊野

読次之伝 村雨留
墨次之伝 藤行留

熊野 観世 清和

朝顔 坂口 貴信

平宗盛 森 常好
宗盛の従者 森 常太郎

笛 一噌 隆之
小鼓 飯田 清一
大鼓 白坂 信行

後見 武田 宗和
坂口 信男
上田 公威

地謡 角 寛次朗
多久島 利之
今村 嘉伸
鷹尾 維教
森本 哲郎
久保誠 一郎
今村 嘉太郎
関根 祥丸

花の会

第18回

HANANOKAI



大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園1-5(092-715-2155)

■地下鉄 大濠公園駅(3番出口・6番出口)より 徒歩約7分

唐人町駅(6番出口)より 徒歩約7分

■西鉄/バス 黒門バス停・大濠公園バス停より 徒歩約5分

座席図



■お問い合わせ

[花の会]福岡事務局
092-725-3846 (平日11時~18時)

企画・制作

能楽伝承プロジェクト[花の会]

※諸事情により記載内容が変更になることがありますので、
予めご了承ください。

野守

ノノノノ

大和春日野で旅の山伏が由緒ありげな池水を見ていると、野守の老人が現れ、「野守の鏡」の由来や古歌の謂れを語ります。真の野守の鏡を見たいと祈念する山伏の前に、鬼神が鏡を携えて現れ、森羅万象、天上界から地獄までを映して見せた後、大地を踏み破って奈落の底へ消え失せます：

第二部 (15時開演)

舞囃子

まつらさよひめ 松浦佐用姫

坂口 貴信
笛 一噌 隆之
小鼓 飯田 清一
大鼓 白坂 保行
地謡 多久島 利之
今村 嘉伸
森本 哲郎
鷹尾 維教
久保誠 一郎

狂言

やせまつ 瘦松

山賊 野村 萬齋
女 野村 太郎

能

のもり 野守

白頭

野守の老人 観世 清和
鬼神 森 常好
山伏 内藤 連
春日の里人 笛 一噌 隆之
小鼓 飯田 清一
大鼓 白坂 保行
太鼓 観世 元伯
後見 武田 宗和
上田 公威
坂口 貴信
地謡 角 寛次朗
坂口 信男
多久島 利之
今村 嘉伸
森本 哲郎
鷹尾 維教
久保誠 一郎
今村 嘉太郎

(終演予定 17時過頃)

(終演予定 14時過頃)